

I 第35週の発生動向 (2013/8/26~2013/9/1)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内では第30週から、東地方+青森市保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内に新たに**警報**が発令されました。弘前保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から**警報**が継続しています。

II 第35週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0				
小児科 (74) RSウイルス感染症					7	0.8	2	0.4	1	0.2			10	0.2	6				
(75) 咽頭結膜熱															-4				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.4			4	0.4	1	0.2	1	0.2			9	0.2	-9			3	0.4
(77) 感染性胃腸炎	16	2.0	4	0.4	2	0.2	2	0.4	1	0.2	7	1.8	32	0.8	-7			16	2.0
(78) 水痘	1	0.1	1	0.1	8	0.9	1	0.2	1	0.2	2	0.5	14	0.3	-1			1	0.1
(79) 手足口病	74	9.3	29	3.2	51	5.7	11	2.2	54	9.0	32	8.0	251	6.1	14			74	9.3
(80) 伝染性紅斑					1	0.1			1	0.2			2	0.0	2				
(81) 突発性発しん	3	0.4	2	0.2	7	0.8			4	0.7			16	0.4	-6			3	0.4
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ	50	6.3	74	8.2	5	0.6	10	2.0	14	2.3	15	3.8	168	4.1	-16			50	6.3
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	14	1.6			1	0.2	1	0.2	2	0.5	19	0.5	3			1	0.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0	2	0.7	3	1.5	2	2.0					9	0.8	4			2	1.0
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	2	2.0					2	2.0	5	0.8	1				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患): 青森市1人、弘前1人、八戸1人 (2013年計:207人)
- (16) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 青森市2人、弘前市1人、八戸1人 (2013年計:41人)
- (19) E型肝炎(四類全数把握疾患): 五所川原1人 (2013年計:3人)
- (71) 侵襲性インフルエンザ菌感染症(五対全数把握疾患): 弘前1人 (2013年計:1人)

IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。



表 県内の年間検出数 (人)

年	人数	年	人数
2003	537	2008	34
2004	226	2009	82
2005	130	2010	44
2006	167	2011	36
2007	91	2012	19

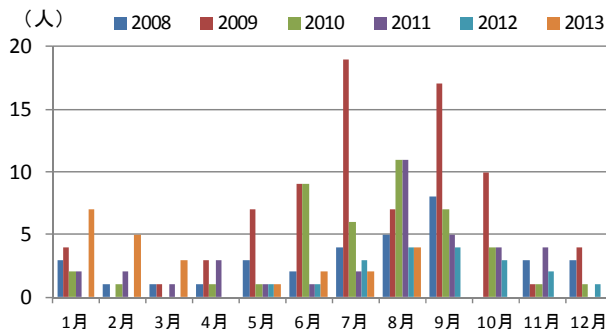


図 県内10医療機関の月別検出数 (2008年~2013年8月)

感染性胃腸炎-サルモネラ感染症- (五類定点把握疾患)

サルモネラ菌は、感染性胃腸炎の原因菌の1つです。本菌は、自然界のあらゆるところに生息し、ペット、鳥類、爬虫類、両生類が保菌し、特に家畜(ブタ、ニワトリ、ウシ)の腸管内に常在しています。

症状は、通常は8~48時間の潜伏期間後に悪心、嘔吐で始まり、数時間後に腹痛、下痢を起こします。健康な成人では胃腸炎症状にとどまりますが、小児では意識障害、痙攣及び菌血症、高齢者では急性脱水症及び菌血症を起こし重症化する場合があります、回復も遅い傾向があります。

米国内では、乳幼児を含む子供がカメとの接触を原因とするサルモネラ症の集団発生が繰り返し発生していることから、厚生労働省は各都道府県に注意喚起しています。

県内の10医療機関による病原微生物検出情報では、サルモネラ菌の検出数は、過去10年間の推移をみると年々減少傾向にあります(表)。月別では6~9月に多くなっています(図)。2013年は1~3月にも多く検出されており、今後も注意が必要です。

予防には、食肉、鶏卵の低温保存管理と調理時、調理後の汚染防止が重要です。動物(ペット含む)と接触した後は、手指を石けんで十分に洗うことが大切です。(参考: IDWR 感染症の話)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第20週～第35週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵襲性肺炎 球菌感染症1人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ 病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症3人			腸管出血性大腸菌感 染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人		
32	H25.8.5 ~ H25.8.11						
33	H25.8.12 ~ H25.8.18		腸管出血性大腸菌感 染症1人				
34	H25.8.19 ~ H25.8.25		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感 染症2人			
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	E型肝炎1人		

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第28週～第35週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
28	H25.7.8 ~ H25.7.14		1	1			2
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	1	1	1	1	1	
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		3	1	1	
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1	1	1	1	2	2
32	H25.8.5 ~ H25.8.11	4	2			1	
33	H25.8.12 ~ H25.8.18				1		
34	H25.8.19 ~ H25.8.25				2	1	
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	1	1	1			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2013年第1週～第33週累計)

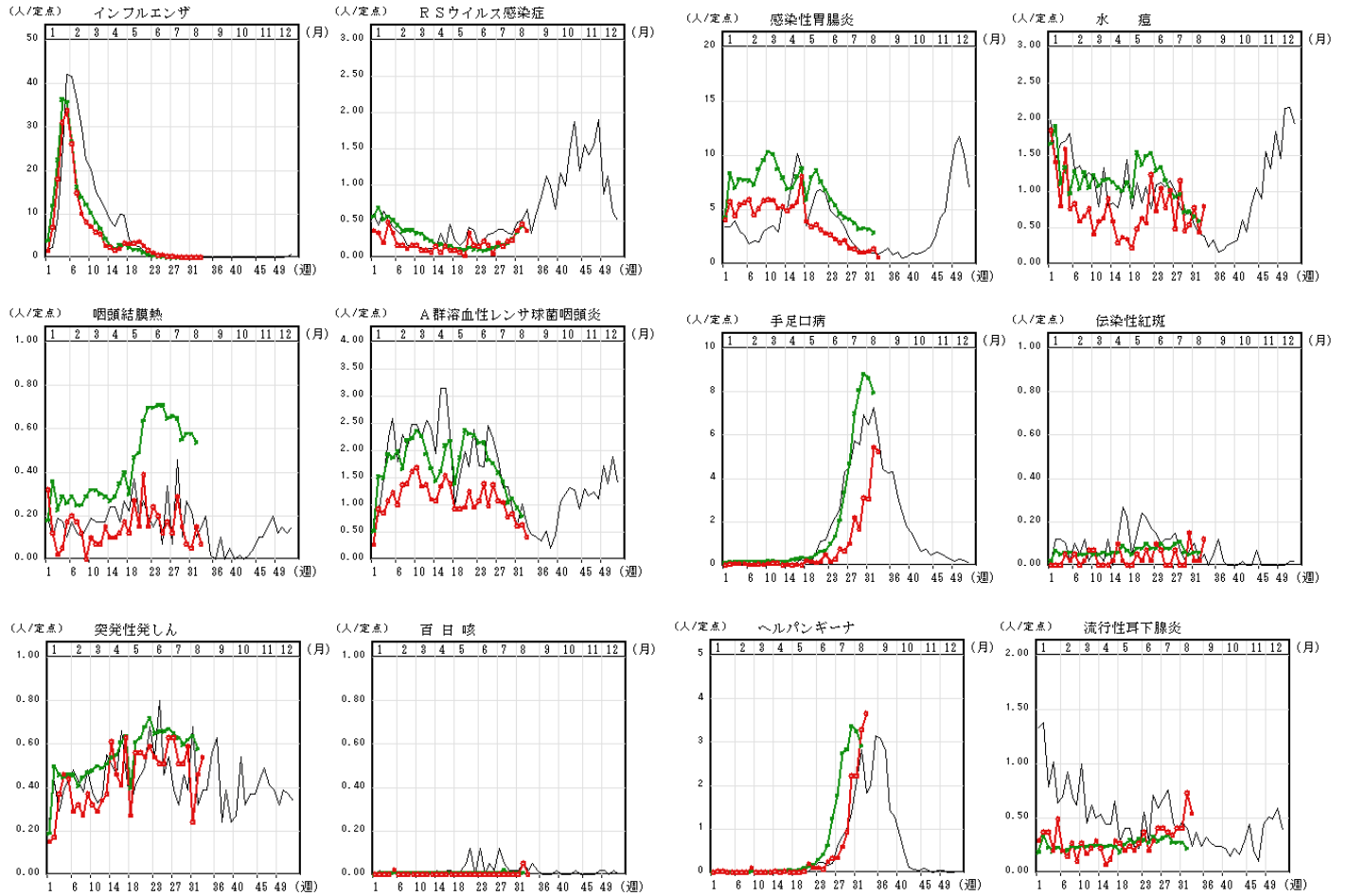
分類	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	16693	2	90	2019	39	35	83	95	12	7	3	3	34	9	142	131	63	2	27	7
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	カリブス病	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎
累積報告数	2	647	7	651	178	243	11	129	134	949	45	61	14	520	11	743	82	37	13747	187	2

青森県

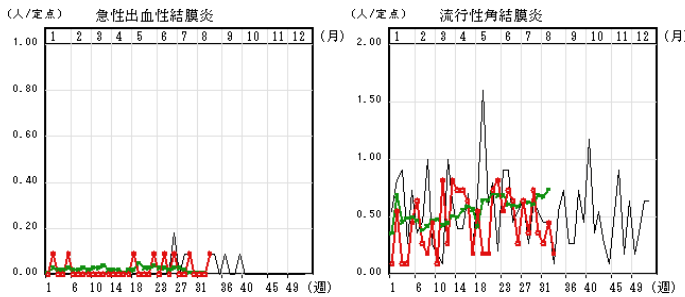
(2013年第1週～9月2日17時00分累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん					
累積報告数	207	41	3	16	3	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1					8

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第34週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第34週

